



吉建第 18 号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

吉富町長 今富 壽一郎



中期的な計画の作成にあたっての意見について

このことについて、別紙のとおり提出します。

●今後の道路政策や道路の整備・管理についてご意見をお伺いしたい事項

①重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

政策を決定する上で、住民の安全な生活を確保し、慢性的な交通渋滞等の問題の解決を図り、また町や地域の発展につながる政策であるかが最も大切である。

これを踏まえたところで、優先度の高い政策として、道路構造物の延命化についての検討が重要である。

社会情勢が大きく変化する昨今、公共事業を取り巻く財政状況は大変に厳しくなっている。今後、限られた予算の中、道路構造物をどのように延命化させるかが、特に優先度の高い政策として重要な課題であると考えている。

壊れたところから補修するのではなく、計画的な各種構造物の施設点検を実施し、計画的かつ効率的な維持補修を行い、将来にわたって機能を充分発揮するよう行っていくことが大切ではないか。

それには、まず、管理システムの規格化をすることにより、より良い管理のあり方、方法を構築することによる早期の対応で、道路構造物の延命化が可能となるのではないか。

②効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと。

今までの直接的な新設又は維持修繕の工事コストの縮減に加えて、リサイクル材の利用や低騒音舗装等の社会的コストの縮減、工期短縮の工夫による時間的コストの縮減などトータルコストを徹底的に抑えることが重要である。

③その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

①高齢者・障害者をはじめ歩行者が安心して利用できる安全で快適な道路環境を形成するため、携帯端末機や音声による施設・経路案内などの整備。また、物流の効率化については、ナビゲーションシステムを用いて、渋滞情報や規制情報など

ITS 技術（高度道路交通システム）の導入を積極的に図る等のサービス提供が大切であると思う。

これらの新たな分野の交通サービスの向上については是非とも推進に努めてもらいたい。

②地域社会にとって道路空間は大変に重要な空間である。道路空間を有効に活用し、魅力ある景観を作り出すことはドライバーのみならず地域住民にとってもうるおいを与える場である。町も道路空間に花草木を植える活動を企業、地元住民とともに推進しなければならない。